

東成区の 都市景観資源紹介



東成区の都市景観資源

大阪市では、東成区の都市景観資源の発掘のため、東成区未来わがまち推進会議との連携により「わがまち自慢の景観」を募集し、大阪市都市景観委員会の審議を経て、平成23年7月1日に9件を都市景観資源に登録しました。

1.北中道の古い街並み



- ◆所在地 東成区中道4丁目16番、17番
- ◆登録番号 H23-16
- ◆概要

かつて平野川と暗越奈良街道とが交差する玉津橋は、交通の要所として賑わっていた。玉津橋西詰を北に入ると、通りの両側に蔵や板塀のある民家が連続しており、古い街並みを形成している。

2.旧三井釦被服



- ◆所在地 東成区大今里4丁目27番22号
- ◆登録番号 H23-17
- ◆概要

今里周辺には明治中期から大正にかけてボタンや被服の製造に携わる事業者が数多く存在した。そのなかで三井釦被服は最も大きな事業者であった。この建物は、昭和初期に四条畷市で学校校舎として建てられたもので戦後になってから現在の地に移築したといわれる。移設当時釦被服製品の販売を行っていたが、後に改装して用途の転用を図っている。移築当時は、左右対称の建物であったが、左側部分が取り壊され、非対称となっている。